所要時間は１０～１５分です

＜枚方市役所＞　令和７年度地域経済動向調査（上半期）

ご協力のお願い

　市内事業所の皆様におかれましては、時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

　枚方市では、地域経済の総合的な動向等を把握・調査分析し、産業振興施策の基礎資料として利用する半期ごとの「地域経済動向調査」を実施しております。

　つきましては、事業所の皆様から令和７年上半期（令和７年１月～６月）分の景気変動等に関する状況やご意見をお伺いしたく、お忙しいところ誠に恐縮でございますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

|  |
| --- |
| **ご記入に際してのお願い** |
| １．調査期日は令和７年８月８日（金）までです。  QR コード  AI 生成コンテンツは誤りを含む可能性があります。２．回答は、郵送、ＷＥＢ、メールのいずれでも可能です。  ●郵　送：同封の返信用封筒にて、委託先まで返送ください。（切手不要）  ●ＷＥＢ：スマートフォンで右のＱＲコードを読み込んでください。➡  　　ＩＤ：＊＊＊＊＊＊＊　ＰＷ：＊＊＊＊＊＊＊  https://form.qooker.jp/Q/auto/ja/hirakata01/hirakata1/  ●メール：回答先：shokou@city.hirakata.osaka.jp  調査票様式は「枚方市・経済動向調査」で検索していただくとＨＰからダウンロード可能です。また、上記アドレス宛に件名「調査票」と記載し空メールを送付いただければ、担当者が確認後、調査票データを送付することも可能です。  調査票をＰＤＦや画像にしてメールで回答いただくことも可能です。  ３．調査は市内の事業者の皆様を対象に、1,000社を選定しております。(無作為抽出)  ４．調査の結果は枚方市役所ホームページに公表し、ご協力いただいた方には冊子「商工だより」（右下図）１部と事業者向けの案内資料を郵送します。  ５．回答いただいた内容を、この調査の目的以外で使用することはありません。ただし、回答いただいた内容を基に、後日、枚方市役所よりセミナー等のご案内を送付させていただく場合があります。個人情報の取り扱いについては、「個人情報の保護に関する法律」に則って行います。  ６．本調査票の内容についてのお問い合わせは、以下の連絡先までお願い致します。  【実施主体】枚方市役所 観光にぎわい部　商工振興課  TEL:072-841-1325／FAX:072-841-1278  E-Mail：shokou@city.hirakata.osaka.jp  担当：黒住  【委託機関】株式会社グリーンエコ  TEL:06-6484-5543／FAX:06-6484-5573  E-Mail：satou@gr-eco.co.jp  担当：佐藤  QR コード  AI 生成コンテンツは誤りを含む可能性があります。  ７．廃業されている方は、お手数ですが、本調査票を破棄してください。 |

**日頃、枚方市内で事業を営んでおられる皆様の率直な声をお聞かせください。**

枚方市 令和７年度地域経済動向調査(上半期）アンケート調査票

〇ご回答者様についてご記入ください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 貴事業所名 | |  |  | □送付先と同じ |
| 所在地 | | 〒　　- |  | □送付先と同じ |
| ご記入者 | 役職 |  | お名前 |  |
| Ｅメール |  | ＠ |  |

Ⅰ．貴事業所の概要

問１　業種について、該当するものに網掛けを付けてください。（網掛けは１つ）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| １．製造業  ４．卸売業・小売業  ７．飲食サービス業・宿泊業 | ２．建設業  ５．医療業・福祉業  ８．その他のサービス業 | ３．運輸業  ６．不動産業・物品賃貸業 |

問２　従業員数について、該当するものに網掛けを付けてください。（網掛けは１つ）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| １．３人以下  ４．20～29人  ７．100～199人 | ２．４～９人  ５．30～49人  ８．200～299人 | ３．10～19人  ６．50～99人  ９．300人以上 |

問３　創業からの年数について、該当するものに網掛けを付けてください。

（網掛けは１つ）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| １．１年未満  ４．３年以上５年未満 | ２．１年以上２年未満  ５．５年以上10年未満 | ３．２年以上３年未満  ６．10年以上 |

Ⅱ．今回調査期間(令和７年１～６月)の景況

問４　令和６年７～12月(前回調査期間)と比較した次の各項目で、該当するものに網掛けを付けてください。（網掛けは各項目ごとに１つ）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| １．出荷・売上高 | １．増加 | ２．横ばい | ３．減少 |
| ２．単価(商品・製品・サービス) | １．値上げ | ２．横ばい | ３．値下げ |
| ３．原材料・仕入れ価格 | １．値上がり | ２．横ばい | ３．値下がり |
| ４．営業利益 | １．増加 | ２．横ばい | ３．減少 |
| ５．採算状況 | １．好転 | ２．横ばい | ３．悪化 |
| ６．資金繰り | １．好転 | ２．横ばい | ３．悪化 |
| ７．設備投資 | １．増加 | ２．横ばい | ３．減少 |
| ８．雇用状況 | １．好転 | ２．横ばい | ３．悪化 |
| ９．来期の業況見通し | １．好転 | ２．横ばい | ３．悪化 |

Ⅲ．社会経済情勢の影響について

問５　物価高騰の影響についてお答えください。（網掛けは１つ）

|  |
| --- |
| １．影響は深刻（今後の事業継続が困難）  ２．影響は大きく、営業利益やコスト削減等では対応が厳しい  ３．影響はあるが、営業利益やコスト削減等で対応できている  ４．影響はあまりない  ５．分からない |

問６　物価高騰に対する取組についてお答えください。（複数回答可）

|  |
| --- |
| １．自社製品・サービスの値上げ（価格転嫁）  ２．販路開拓などによる営業利益の増加（売り上げ増）  ３．節電などの省エネによるコスト削減  ４．節約などの省エネ以外のコスト削減  ５．電力・ガス等の契約プランの見直し  ６．省エネ型設備への更新・新規導入  ７．特に何もしていない  ８．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

問７　問６で「１.自社製品・サービスの値上げ」と答えた方にお尋ねします。価格転嫁の状況についてお答えください。（網掛けは１つ）

|  |
| --- |
| １．全て転嫁できている（10割）  ２．概ね転嫁できている（７割～９割程度）  ３．一部転嫁できている（４割～６割程度）  ４．ほとんど転嫁できていない（１割～３割程度）  ５．全く転嫁できていない（０割） |

問８　貴事業所の事業活動において、課題を抱えている取組として、当てはまるものにすべて網掛けをつけてください。（複数回答可）

|  |  |
| --- | --- |
| １．トレンド・業界・社会経済情勢の把握  ３．採用活動・採用範囲の拡大  ５．人材育成・従業員教育・リスキリング  ７．設備投資による生産性の向上  ９．デジタル・ＩＴ・ＤＸ化  11．新規事業  13．海外取引・越境ＥＣ  15．事業の引継ぎ・後継者探し | ２．補助金・助成金の把握と申請  ４．内部人材・外部人材の活用  ６．福利厚生・職場環境の充実  ８．物価高騰によるコスト上昇の価格転嫁  10．事業のＰＲ・取引先の獲得  12．営業所・事業所の拡大  14．仕入方法の変更等による採算の改善  16．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

問９　問８で網掛けをつけた「課題を抱えている取組」の理由を最大３つまで教えてください。(任意・自由記述)

番号：　　　　理由：

番号：　　　　理由：

番号：　　　　理由：

問10　問８の取組の内、貴事業所において、上手く進めることができた取組があれば最大３つまでご紹介ください。(任意・自由記述)

番号：　　　　理由：

番号：　　　　理由：

番号：　　　　理由：

Ⅳ．雇用状況と働きやすい職場づくりについて

2025年3月の大学等卒業者の就職率は98.0％であり、前年（98.1％）に引き続き、高い水準を維持しています。一方で、人手不足の要因は「応募がない」の比率が高くなっています。操業環境を維持するため、企業の人材確保は多様化の動きが進んでおり、例えば短時間勤務の雇用により幅広い労働者の受け入れを行う企業や、女性の職場環境や子育て環境を整備する企業が増加しています。

【出典】 大学等卒業者及び高校卒業者の就職状況調査結果　文部科学省

就職白書2025　就職みらい研究所

問11　事業所において働きやすい職場づくりを行うために、どのような取組が必要とお考えですか。（複数回答可）

|  |
| --- |
| １．賃金・賞与の引き上げ  ２．有給休暇が取得しやすい等、ワークライフバランスの推進  ３．福利厚生の充実  ４．企業イメージ・仕事内容のイメージ改善  ５．テレワークの導入やＤＸの推進等、多様な働き方への対応  ６．産休・育児休業の取得しやすさ  ７．キャリア形成が図れる社内制度  ８．充実した什器や設備、男女別のトイレや更衣室、シャワールーム等  ９．雇用者の収入に係る法改正（働き控えを生む、いわゆる「年収の壁」の見直し）  10．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

問12　貴事業所において人手不足が生じていますか。（網掛けは１つ）

|  |  |
| --- | --- |
| １．応募がなく人手不足が生じている  ３．個人経営・家族経営 | ２．現在の従業員数で人手は充足している  ４．わからない |

問13　問12で「１．応募がなく人手不足が生じている」と答えた方にお伺いします。応募がない要因は何だとお考えですか。（複数回答可）

|  |  |
| --- | --- |
| １．業界の人気がない  ３．賃金が安い  ５．福利厚生が充実していない  ７．その他（ | ２．事業所の知名度が低い  ４．労働環境が厳しい  ６．働きやすい職場環境が整っていない  ） |

問14　貴事業所において地元（枚方市）の人材を採用するにあたり重視する点は何ですか。（複数選択可）

|  |  |
| --- | --- |
| １．通勤距離が近く、定着が期待できる  ３．地域経済への貢献やＣＳＲの一環として  ５．地元でのネットワーク活用が期待できる  ７．その他（ | ２．地域の実情や文化を理解している  ４．地元学校・教育機関との連携がしやすい  ６．採用コストが抑えられる  ） |

問15　「くるみん認定」や「えるぼし認定」（※１）を知っていますか。（網掛けは１つ）

|  |  |
| --- | --- |
| １．内容までよく知っている  ３．知らない | ２．名前は聞いたことがある |

（※１）「くるみん認定」「えるぼし認定」とは？

■くるみん認定：企業が「次世代育成支援対策推進法」に基づき、子育てをしやすい職場づくりに積極的に取り組んでいると認められた場合に、厚生労働大臣から認定される制度。

■えるぼし認定：企業が「女性活躍推進法」に基づき、女性の活躍を促進するための取り組みを行っていると認められた場合に、厚生労働大臣から認定される制度。

いずれも、認定マークの使用による企業イメージの向上や採用・定着促進、公共調達における優遇措置、日本政策金融公庫による融資制度などのメリットがあります。

詳しくは枚方市のホームページをご覧ください。➡

https://www.city.hirakata.osaka.jp/0000050093.html



問16　「くるみん認定」または「えるぼし認定」の取得状況を教えてください。（複数回答可）

|  |  |
| --- | --- |
| １．「えるぼし認定」を取得している  ３．取得を検討している  ５．取得の予定・興味はない | ２．「くるみん認定」を取得している  ４．興味はあるが検討していない |

問17　問16で「１～２．取得している」「３．取得を検討している」と答えた方にお伺いします。認定を取得した、または取得を検討する中で課題と感じることは何ですか。（複数回答可）

|  |  |
| --- | --- |
| １．認定制度のメリットがわかりにくい  ３．手続き・書類作成の負担が大きい  ５．社内の理解・協力が得にくい  ７．その他（ | ２．要件のハードルが高い（制度、指標など）  ４．自社の業務実態に合わない部分がある  ６．担当する人材・時間が不足している  ） |

問18　働きやすい職場づくりや認定制度に関して、希望する支援制度があればご記入ください。(任意・自由記述)

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

Ⅴ．大阪・関西万博について

問19　大阪・関西万博に関連して、貴事業所の活動に影響はありましたか。（網掛けは１つ）

|  |  |
| --- | --- |
| １．すでに影響があった  ３．特に影響はない | ２．今後影響があると思う  ４．わからない |

問20　問19で「１．すでに影響があった」「２．今後影響があると思う」と答えた方にお伺いします。どのような影響がありましたか。（複数選択可）

|  |
| --- |
| １．売上増加  ２．プロモーションや広報の機会が増えた  ３．新たな取引先・ビジネス機会が創出  （外国企業とのビジネスマッチング、展示商談会の参加など）  ４．採用活動に影響があった（応募増・減）  ５．コスト・業務負担の増加  ６．人材不足の悪化  ７．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

Ⅵ．事業者支援について

問21　貴事業所の事業活動において、国や府、市の支援制度（補助金・助成金・融資制度など）を利用したことはありますか。（網掛けは１つ）

（例）小規模事業者持続化補助金、ものづくり補助金、IT導入補助金、人材開発支援助成金、キャリアアップ助成金、プロフェッショナル人材活用（※２）など

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| １．利用したことがある | ２．利用したことがない | ３．わからない |

（※２）プロフェッショナル人材活用とは？

中小企業が抱える多様な経営課題に対し、的確な解決策を提供するため、民間企業で豊富な実務経験と専門スキルを持つ「副業プロフェッショナル人材」とのマッチングを支援する仕組みです。詳しくは、「枚方市立地域活性化支援センター」の

ホームページをご覧ください。➡

https://www.hirakata-kassei.jp/keiei/projinzai/

QR コード

AI 生成コンテンツは誤りを含む可能性があります。

市の事業者支援制度

枚方市が実施する事業者支援、補助金、税制優遇等については、

枚方市のホームページで掲載していますのでぜひご覧ください。➡

https://www.city.hirakata.osaka.jp/soshiki/22-4-0-0-0\_3.html



問22　問21で「１．利用したことがある」と答えた方にお伺いします。貴事業所において、上手く利用することができた支援制度があれば最大２つまでご紹介ください。(任意・自由記述)

支援制度：

理　　由：

支援制度：

理　　由：

問23　景気動向、その他の社会情勢等についてのご意見や、貴事業所が考える「経済効果を生み出す」行政の産業振興施策案などを、自由にご記入ください。（任意・自由記述）

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

設問は以上です。

ご協力いただきありがとうございました。